

〈ころばぬ先のつえ〉

■サイズ：約120cm ■価格：27,000円(税抜)

取材協力

奄美市木工工芸センター

〒894-1116 奄美市住用町摺勝555-10

TEL/FAX 0997-69-5015

✉ amamiswood@gmail.com



材料となる木。自然が生み出した多種多様な造形の木が、作品の原点。素材の魅力が際立つようデザインしていく



佑光さんはさまざまな木製品を妻の雅代さんと製作している



つえの柄を彩る夜光貝。真珠のような光沢が特徴

現代の日本で「つえ」というと、歩行補助に使う健康つえをイメージする方がほとんどだと思います。私がつえを作り始めたのは、この印象を変え、父が大正時代に紳士のファッションの一部として使っていたつえのような、おしゃれなつえを広めたいと思ったからです。材料には奄美大島に自生する樹木を使っています。シマミサオやアデクなど、種類はさまざま。台風が多いため材料になる真つすぐな木は稀少ですが、降水量の多い島の木は硬くて強いものが多く、丈夫なつえを

作ることができます。デザインで大切にしているのは自然の造形を生かすこと。持ち手の曲がり具合など、素材の面白さを引き出して作ったつえは、どれも世界に一つだけのものです。また、奄美らしさを高めるため、夜光貝や海岸の丸石を装飾に取り入れたり、木材を大島紬と同じような手法で染めてみたりと工夫しています。現在、よりおしゃれなデザインを目指し、つえ先のゴムを木の中に入れ込もうと計画中です。女性が扇子感覚で持てるつえも作ってみたいですね。

奄美大島に自生する丈夫な樹木の形を生かしたつえ。製作・販売する奄美市木工工芸センターの恵原^{えぼら}佑光さんに作品のこだわりなどについて伺いました。

プレゼントコーナー

トレイ・スプーン・和菓子切りセットを1名様にプレゼント 応募締切 令和元年12月27日(金)

応募方法 ハガキ、FAX、または電子メールに①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入の上、下記までお送りください。

メールアドレス

ハガキ宛 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1 FAX 099-286-2119 件名は「グラフかごしま11月号プレゼント」
鹿児島県広報課 メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp 件名は「グラフかごしま11月号プレゼント」



※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

広告